

## 大分タレント発掘事業 タレント選抜スクール計画（案）

1. 日時 平成 28 年 11 月 19 日 午前 10:00～12:00  
午後 13:30～15:30

場所 庄内屋内運動場

2. 参加人員 タレント 40 名 (中学 1 年、2 年生)  
評価コーチ 10 名 (ライフル 5、ピストル 5 名)  
研修者 10 名 (今後のタレント発掘に活用するために研修)

3. 方法 2 班に分け、午前、午後に別けて実施。

各班を更に 2 班に別けて実施。

40 名	午前中 15 名	第 1 班	8 名	A グループ
		第 2 班	7 名	B グループ
	午後 15 名	第 1 班	8 名	C グループ
		第 2 班	7 名	D グループ

- 測定項目
1. バランステスト パイプ乗り
  2. ライフル専門テスト
  3. ピストル専門テスト
  4. 引き金操作、照準の協調性テスト

- 順序
1. A、B 班 一緒にバランステスト
  2. A 班 ライフル専門テスト → ピストル専門テスト → 終了  
(同時に協調性テスト)
  - B 班 ピストル専門テスト → ライフル専門テスト → 終了  
(同時に協調性テスト)

## 4. 各テストの方法

- 1) バランステスト (パイプ機材 8 台)

パイプ乗り

3 分練習 → 5 分 → 1 分休憩 → 5 分

- 2) ライフル専門テストの方法 (ビームライフル 9 台 (8+予備 1))

作成を検討中

ビームライフルを使用しての委託射撃

- 3) ピistol専門テストの方法 (カメラピistol8台 (8+予備2台)  
カメラピistolを使用して、委託台での立射  
コーチの目視による判定 (フォロースルー他の指定項目を数値化)  
10分練習、試射 → 30分で40発以上射撃
- 4) 引き金操作、照準の協調性テストの方法  
カメラガンのデータを基に、引き金操作、照準の協調性を数値化
5. 判定 評価は、バランステスト、評価者テスト、協調性テストの結果で実施。  
秋田県 (ピistol) では、バランステスト20点、評価者テスト20点、適性テスト  
20点の60点満点で実施したが、見直しを含む検討も必要。  
最初から、ライフル向け選抜者、ピistol向け選抜者に別けるか?  
あるいは、最初はライフル、ピistol両方に向く選抜者を選ぶのか?など。
6. その他  
判定会議  
測定結果を基にしたタレントの判定検討会を、20日 (日) 9:00より実施。
7. JSC 委託事業との連携  
ライフル、ピistolの各種目特性に基づく選抜を実施するもので、各地で実施されているタレント発掘事業の基本方法となる見込みである。このため、全国のライフル、ピistolコーチ各5名を評価者として参集する。  
同時に、各地で実施しているタレント発掘事業の責任者や協会認定コーチによる評価方法の現地研修とする。公募で計10名を予定。

「以上」